

(参考4)

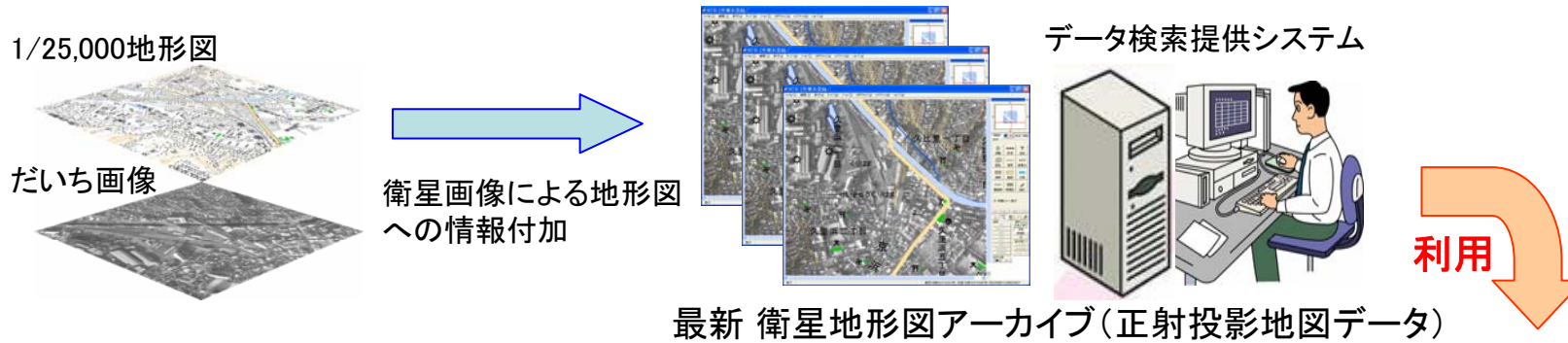
「だいち」による 防災利用実証実験計画 概要

目的

本防災利用実証実験は、「だいち」の防災分野の利用を一層促進するとともに、「だいち」以降の防災のための次期地球観測衛星システム等の開発・運用等に向け、防災関連業務における地球観測衛星利用の実効性向上の検証等を狙いとしたものである。

このため、それぞれの課題に対応したWGを設置し、「だいち」のデータを利用し、防災利用ニーズを満足できるかどうかを評価して、内容の見直し及び重点化を適切に図る。

衛星地形図の作成及び防災利用に関する実証実験 利用イメージ



発災時 **対策本部 等**

最新道路情報の把握、
集落の分布概要の把握、
ヘリコプター着陸場所
検討への利用 等

平常時 **机上訓練、防災訓練等**

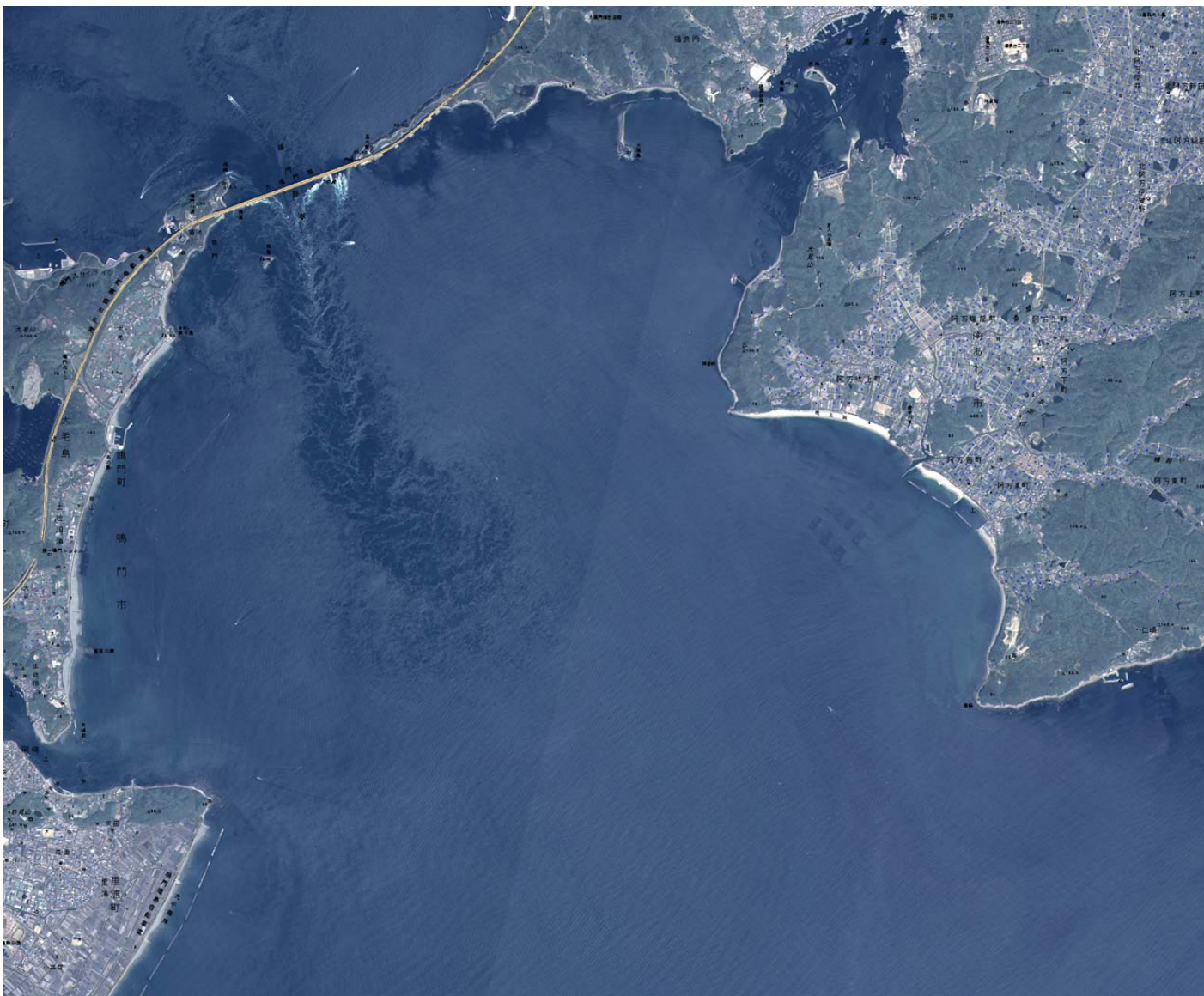
第2回防災利用衛星システム検討会 静岡県殿資料より

那覇市HPより

最新道路情報の把握、
集落の分布概要の把握、
ヘリコプター着陸場所検討への利用 等

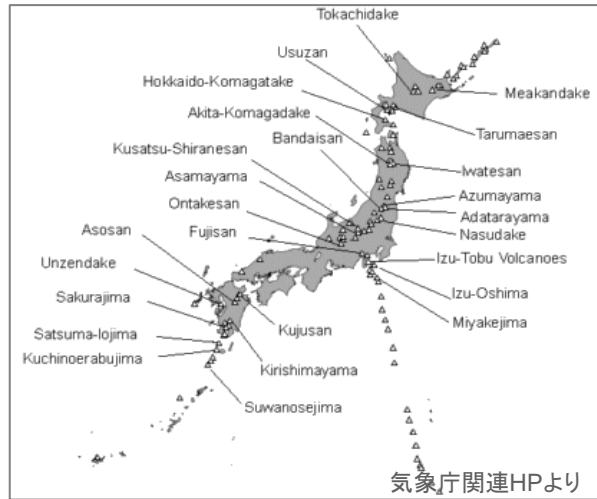
データハンドリングツール等の利用

衛星地形図の作成及び防災利用に関する実証実験 利用例



「だいち」ALOS PRISM・AVNIR-2パンシャープン画像に2万5千分1地形図を元データとするベクトル情報を重ね合せた衛星地形図「国土地理院による試作図」(2006年4月28日、鳴門海峡)

火山噴火の予兆及び被害把握に関する実証実験 利用イメージ



火山噴火予知連絡会の指定する火山

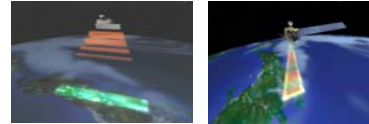
平常時

- 最新パンシャープン画像の作成
- 常時観測・臨時観測火山の3モード (オフティア角: 21.5°, 34.3°, 41.5°) による繰り返し観測



発災時

- 被災地の緊急観測



火山データセットの準備

※PALSARについては、緊急観測時は、極力データセットと同じ何れかのモードで観測する



実証機関



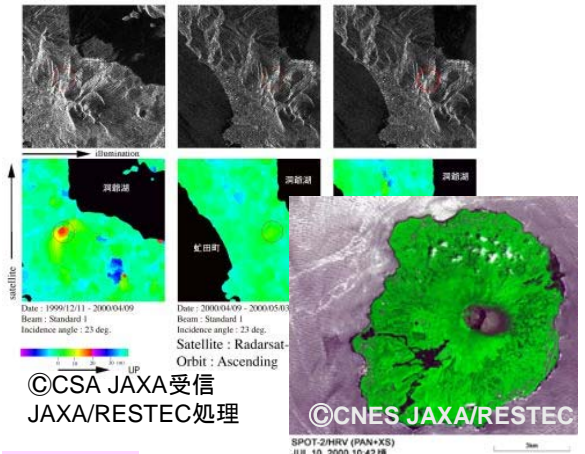
衛星による面情報



地上観測網との相互補完

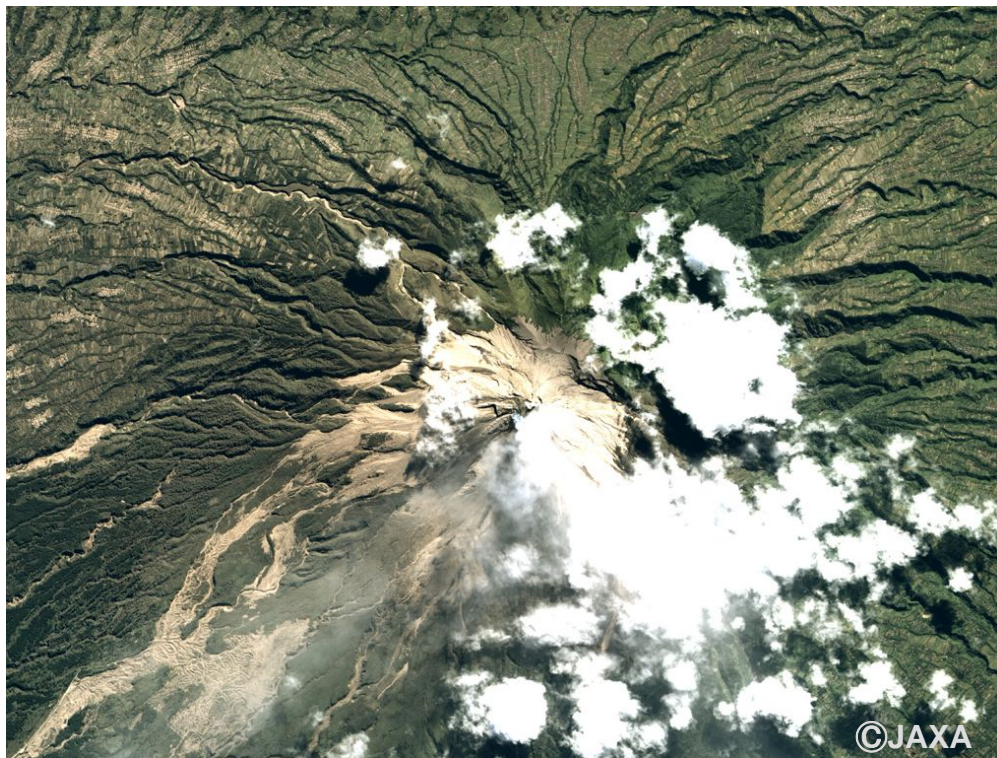
GPS等による点情報

平常時: 山体変化等の監視

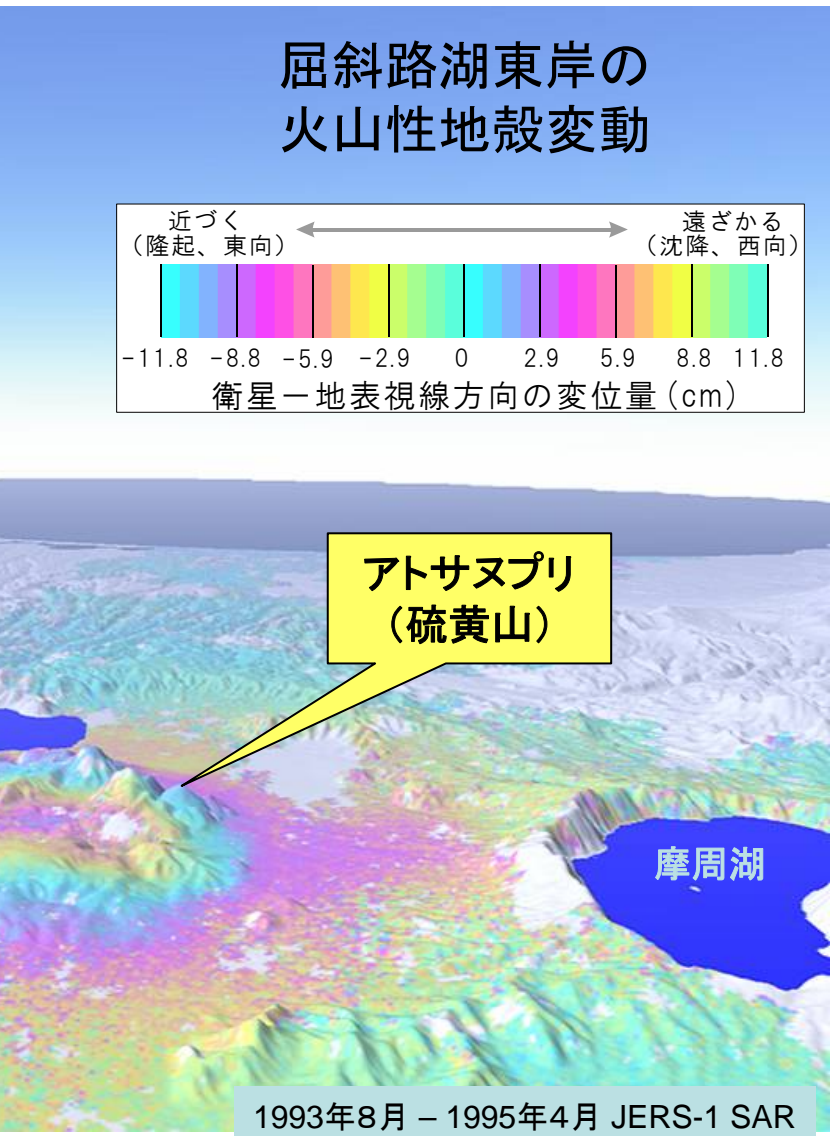


発災時: 被害状況の空間的把握 (噴煙、噴石、降灰、溶岩流、土石流、火災、農作物被害等の確認) 二次災害発生危険箇所把握等

火山噴火の予兆及び被害把握に関する実証実験 利用例

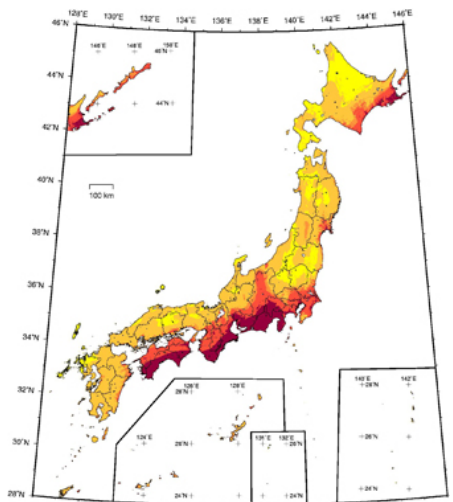


「だいち」ALOS PRISM・AVNIR-2パンシャープン画像による火山活動の確認(2006年6月12日)



「ふよう」JERS-1/SARインターフェロメトリ処理による活火山(アトサヌプリ)の地殻変動抽出

地殻・地盤変動及び被害把握に関する実証実験 利用イメージ



地震調査研究推進本部HPより

将来の地震発生確率の評価等

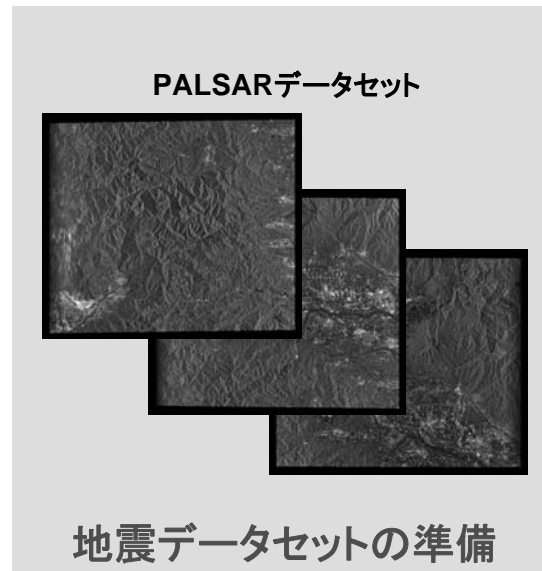
平常時

・特定観測地域・観測強化地域の
3モード(オフナディア角:21.5°, 34.3°,
41.5°)による繰り返し観測



発災時

・被災地の緊急観測

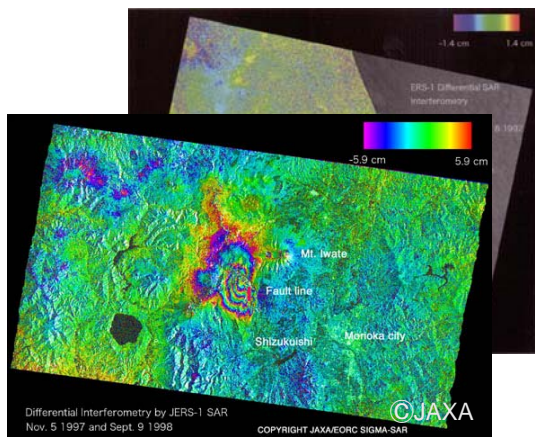


利用

実証機関



GPS等による点情報



発災時: 地殻変動規模の把握
地震予知の精度向上 等



平常時: 地殻変動の把握・異常検知
(面的歪の経年変動把握) 等